

# 市内経営動向調査 平成27年4月～6月期 (第1四半期)

- ① 調査の時期 平成27年7月      ② 調査の期間 平成27年4月～6月  
③ 調査対象企業 280社      ④ 回収状況 153社 (回答率54.6%)  
⑤ 調査内容 建設業、製造業、卸・小売業、サービス業を営む企業に対して、佐世保の景況感、  
業界の景況感、前年同期比売上動向 (H26.4月～6月)、前年同期比採算動向  
(H26.4月～6月) を調査

※DI=ディフュージョン・インデックスとは《「増加・好転の割合」－「減少・悪化の割合」》

## 【総括】

### ○全業種

全業種では、佐世保の景況感と業界の景況感におけるDI値の改善がみられた。前回までは、業種毎で2極化の進行がみられたものの、一転して製造業、卸・小売業では今回全ての調査項目においてDI値が改善し、建設業、サービス業では一部の調査項目を除き悪化に転じた。ただし、今回は比較対象となる前年同月に消費増税の影響が残っていたことへ留意が必要である。全体的には消費増税以降一旦回復に転じたものの、足踏み状態が続いており、先行きに慎重な見方が窺える。経営上の問題としては、人材不足や原材料費の高騰、年間を通しての受注の不安定、消費増税以降の購買力の低迷を問題視する声が寄せられた。

### ○佐世保市内の景況感

DI値は、製造業、卸・小売業において改善したものの、建設業、サービス業において悪化した。前回大きく悪化に転じた卸・小売業では、▲38.5 (前回比+11.4%) と大きく改善に転じたものの、全業種の中では低い数値が続いており、今後の動向に注視が必要である。また、3期連続で回復傾向にあった製造業は、▲25.8 (前回比+3.3%) と前回に続いて若干の改善となった。

### ○市内業界の景況感

DI値は、建設業を除く、製造業、卸・小売業、サービス業において改善した。前回まで3期連続で改善傾向にあった製造業は、『悪い』『大変悪い』と回答した企業が8.6%減少し、▲12.9 (前回比+12.1%) と4期連続での改善となった。同じく3期連続改善傾向にあった建設業であるが、『悪い』『大変悪い』と回答した企業が6.7%増加し、▲35.3 (前回比-14.9%) と全業種の中で大きく悪化に転じた。

### ○前年同期比の売上動向









































DI値は、製造業、卸・小売業において改善したものの、建設業、サービス業において悪化した。前回まで全業種の中でもサービス業の好調さが窺えていたが、今回は▲6.8 (前回比-34.0%) と大きく悪化に転じた。同様に3期連続で改善していた建設業も、▲34.7 (前回比-26.5%) と大きく悪化に転じた。一方、今回市内・業界の景況感においてDI値がいずれも大きく改善した卸・小売業では、▲2.5 (前回比+42.2%) と改善した。要因として、前年は消費増税の影響で大きく落ち込んでいたため、地域振興券の効果という声が寄せられた。

### ○前年同期比の採算動向

DI値は、製造業、卸・小売業において改善したものの、建設業、サービス業において悪化した。特に建設業はDI値が▲32.6 (前回比-18.2%)、サービス業は▲16.7 (前回比-31.9%) と売上動向と同様に大きく悪化した。要因として、建設業では依然として労務費の上昇や資材の高騰を問題視する声が寄せられた。

①佐世保の景況感について				②市内業界の景況感				③昨年同期比の売上の動向は？				④昨年同期比の採算動向は？			
全業種 DI値 ▲ 33.2				全業種 DI値 ▲ 26.3				全業種 DI値 ▲ 11.1				全業種 ▲ 19.2			
1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.増加	2	1.31%	1.3	1.好転	0	0.00%	0.0
2.良い	7	4.64%	4.6	2.良い	13	8.55%	8.6	2.やや増加	34	22.22%	22.2	2.やや好転	21	13.91%	13.9
3.普通	87	57.62%	57.6	3.普通	86	56.58%	56.5	3.変わらない	64	41.83%	41.9	3.変わらない	80	52.98%	53.0
4.悪い	53	35.10%	35.1	4.悪い	48	31.58%	31.6	4.やや減少	30	19.61%	19.6	4.やや悪化	37	24.50%	24.5
5.大変悪い	4	2.65%	2.7	5.大変悪い	5	3.29%	3.3	5.減少	23	15.03%	15.0	5.悪化	13	8.61%	8.6
建設業 DI値 ▲ 37.2				建設業 DI値 ▲ 35.3				建設業 DI値 ▲ 34.7				建設業 DI値 ▲ 32.6			
1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.増加	0	0.00%	0.0	1.好転	0	0.00%	0.0
2.良い	1	1.96%	2.0	2.良い	1	1.96%	2.0	2.やや増加	5	9.62%	9.6	2.やや好転	2	3.85%	3.9
3.普通	30	58.82%	58.8	3.普通	31	60.78%	60.7	3.変わらない	24	46.15%	46.1	3.変わらない	31	59.62%	59.6
4.悪い	18	35.29%	35.3	4.悪い	18	35.29%	35.3	4.やや減少	11	21.15%	21.2	4.やや悪化	13	25.00%	25.0
5.大変悪い	2	3.92%	3.9	5.大変悪い	1	1.96%	2.0	5.減少	12	23.08%	23.1	5.悪化	6	11.54%	11.5
製造業 DI値 ▲ 25.8				製造業 DI値 ▲ 12.9				製造業 DI値 12.9				製造業 DI値 3.4			
1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.増加	1	3.23%	3.2	1.好転	0	0.00%	0.0
2.良い	0	0.00%	0.0	2.良い	4	12.90%	12.9	2.やや増加	10	32.26%	32.3	2.やや好転	7	24.14%	24.1
3.普通	23	74.19%	74.2	3.普通	19	61.29%	61.3	3.変わらない	13	41.94%	41.9	3.変わらない	16	55.17%	55.2
4.悪い	7	22.58%	22.6	4.悪い	7	22.58%	22.6	4.やや減少	5	16.13%	16.1	4.やや悪化	4	13.79%	13.8
5.大変悪い	1	3.23%	3.2	5.大変悪い	1	3.23%	3.2	5.減少	2	6.45%	6.5	5.悪化	2	6.90%	6.9
卸・小売業 DI値 ▲ 38.5				卸・小売業 DI値 ▲ 37.5				卸・小売業 DI値 ▲ 2.5				卸・小売業 DI値 ▲ 20.0			
1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.増加	0	0.00%	0.0	1.好転	0	0.00%	0.0
2.良い	3	7.69%	7.7	2.良い	3	7.50%	7.5	2.やや増加	12	30.00%	30.0	2.やや好転	5	12.50%	12.5
3.普通	18	46.15%	46.1	3.普通	19	47.50%	47.5	3.変わらない	15	37.50%	37.5	3.変わらない	22	55.00%	55.0
4.悪い	18	46.15%	46.2	4.悪い	16	40.00%	40.0	4.やや減少	9	22.50%	22.5	4.やや悪化	11	27.50%	27.5
5.大変悪い	0	0.00%	0.0	5.大変悪い	2	5.00%	5.0	5.減少	4	10.00%	10.0	5.悪化	2	5.00%	5.0
サービス業 DI値 ▲ 26.6				サービス業 DI値 ▲ 9.9				サービス業 DI値 ▲ 6.8				サービス業 DI値 ▲ 16.7			
1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.増加	1	3.33%	3.3	1.好転	0	0.00%	0.0
2.良い	3	10.00%	10.0	2.良い	5	16.67%	16.7	2.やや増加	7	23.33%	23.3	2.やや好転	7	23.33%	23.3
3.普通	16	53.33%	53.4	3.普通	17	56.67%	56.7	3.変わらない	12	40.00%	40.0	3.変わらない	11	36.67%	36.7
4.悪い	10	33.33%	33.3	4.悪い	7	23.33%	23.3	4.やや減少	5	16.67%	16.7	4.やや悪化	9	30.00%	30.0
5.大変悪い	1	3.33%	3.3	5.大変悪い	1	3.33%	3.3	5.減少	5	16.67%	16.7	5.悪化	3	10.00%	10.0

市内経営動向調査 平成27年度第1四半期（平成27年4月～6月）DI景況感 ※DI値は平成26年第4四半期（平成27年1月～3月）と比較

	佐世保の景況感	業界の景況感	前年同期比売上げ動向	前年同期比採算動向
全業種	DI ▲34.5 ⇒ ▲33.2 ↗  ⇒  ↑	DI ▲29.0 ⇒ ▲26.3 ↗  ⇒  ↑	DI ▲7.9 ⇒ ▲11.1 ↗  ⇒  ↓	DI ▲11.4 ⇒ ▲19.2 ↗  ⇒  ↓
建設業	DI ▲32.6 ⇒ ▲37.2 ↗  ⇒  ↓	DI ▲20.4 ⇒ ▲35.3 ↗  ⇒  ↓	DI ▲8.2 ⇒ ▲34.7 ↗  ⇒  ↓	DI ▲14.4 ⇒ ▲32.6 ↗  ⇒  ↓
製造業	DI ▲29.1 ⇒ ▲25.8 ↗  ⇒  ↑	DI ▲25.0 ⇒ ▲12.9 ↗  ⇒  ↑	DI 0.1 ⇒ 12.9 ↗  ⇒  ↑	DI 0.0 ⇒ 3.4 ↗  ⇒  ↑
卸・小売業	DI ▲49.9 ⇒ ▲38.5 ↗  ⇒  ↑	DI ▲52.6 ⇒ ▲37.5 ↗  ⇒  ↑	DI ▲44.7 ⇒ ▲2.5 ↗  ⇒  ↑	DI ▲40.5 ⇒ ▲20.0 ↗  ⇒  ↑
サービス業	DI ▲24.2 ⇒ ▲26.6 ↗  ⇒  ↓	DI ▲18.2 ⇒ ▲9.9 ↗  ⇒  ↑	DI 27.2 ⇒ ▲6.8 ↗  ⇒  ↓	DI 15.2 ⇒ ▲16.7 ↗  ⇒  ↓



DI100～81



DI80～41



DI40～11



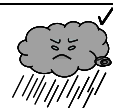
DI10～▲10



DI▲11～▲40

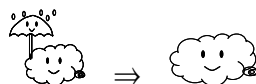


DI▲41～▲80



DI▲81～▲100

DI ▲30.0 ⇒ ▲10.0 ↗ (平成21年度第1四半期～平成27年度第1四半期の傾向)



↑ (平成26年度第4四半期と平成27年度第1四半期との比較)

## 【概 況】

(全業種) ※ ( ) 内は前回調査値

### ① 市内の景況感について

「大変良い」0% (0%)、「良い」4.6% (4.6%)、「普通」57.6% (56.3%)、「悪い」35.1% (37.1%)、「大変悪い」2.7% (2.0%) となり、DIは▲33.2 (▲34.5) と1.3ポイント改善した。業種別DIでは、製造業、卸・小売業でプラスに作用し、建設業、サービス業ではマイナスに作用した。

### ② 市内における業界の景気動向について

「大変良い」0% (0.7%)、「良い」8.6% (8.5%)、「普通」56.5% (52.6%)、「悪い」31.6% (36.2%)、「大変悪い」3.3% (2.0%) となり、DIは▲26.3 (▲29.0) と2.7ポイント改善した。業種別DIでは、製造業、卸・小売業、サービス業でプラスに作用し、建設業ではマイナスに作用した。

### ③ 前年同期（平成26年1月～3月）比の売上動向について

「増加」1.3% (4.0%)、「やや増加」22.2% (21.7%)、「変わらない」41.9% (40.7%)、「やや減少」19.6% (21.1%)、「減少」15.0% (12.5%) となり、DIは▲11.1 (▲7.9) と3.2ポイント悪化した。業種別DIでは、製造業、卸・小売業でプラスに作用し、建設業、サービス業ではマイナスに作用した。

### ④ 前年同期（平成26年1月～3月）比の採算動向について

「好転」0% (1.3%)、「やや好転」13.9% (18.0%)、「変わらない」53.0% (50.0%)、「やや悪化」24.5% (22.0%)、「悪化」8.6% (8.7%) となり、DIは▲19.2 (▲11.4) と7.8ポイント悪化した。業種別DIでは、製造業、卸・小売業でプラスに作用し、建設業、サービス業ではマイナスに作用した。

《業種別概況》 ※（ ）内は前回調査値

**(建設業)** 回答：78社中52社、回答率66.7%

○市内の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」2.0% (4.1%)、「普通」58.8% (59.2%)、「悪い」35.3% (32.6%)、「大変悪い」3.9% (4.1%) となり、DIは▲37.2 (▲32.6) と4.6ポイント悪化した。

○市内業界の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」2.0% (10.2%)、「普通」60.7% (59.2%)、「悪い」35.3% (26.5%)、「大変悪い」2.0% (4.1%) となり、DIは▲35.3 (▲20.4) と14.9ポイント悪化した。

○前年同期比の売上げは、「増加」0% (2.0%)、「やや増加」9.6% (22.5%)、「変わらない」46.1% (42.8%)、「やや減少」21.2% (22.5%)、「減少」23.1% (10.2%) となり、DIは▲34.7 (▲8.2) と26.5ポイント悪化した。

○前年同期比の採算動向は「好転」0% (2.0%)、「やや好転」3.9% (14.3%)、「変わらない」59.6% (53.0%)、「やや悪化」25.0% (22.5%)、「悪化」11.5% (8.2%) となり、DIは▲32.6 (▲14.4) と18.2ポイント悪化した。

#### 《主な自由意見》

○昨年同期の売上動向

好転要因では、公共工事の受注増加などの回答があった。

悪化要因では、公共工事・民間工事の受注減少、工期の延長の影響などの回答があった。

○昨年同期の採算動向

好転要因では、一人一人が原価を意識しながら取り組んだためなどの回答があった。

悪化要因では、受注の減少や資材の値上げ、外注費（下請け単価）の値上げ、経費の増加などの回答があった。

○経営上の問題

若年技術者などの人材不足や従業員の高齢化、今後の受注確保を問題視する声が寄せられた。

**(製造業) 回答：64社中31社、回答率48.4%**

○市内の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」0% (3.2%)、「普通」74.2% (64.5%)、「悪い」22.6% (32.3%)、「大変悪い」3.2% (0%) となり、DIは▲25.8 (▲29.1) と3.3ポイント改善した。

○市内業界の景況感については、「大変良い」0% (3.1%)、「良い」12.9% (6.3%)、「普通」61.3% (56.2%)、「悪い」22.6% (34.4%)、「大変悪い」3.2% (0%) となり、DIは▲12.9 (▲25.0) と12.1ポイント改善した。

○前年同期比の売上げは、「増加」3.2% (12.5%)、「やや増加」32.3% (18.8%)、「変わらない」41.9% (37.5%)、「やや減少」16.1% (15.6%)、「減少」6.5% (15.6%) となり、DIは12.9 (0.1) と12.8ポイント改善した。

○前年同期比の採算動向は「好転」0% (3.2%)、「やや好転」24.1% (19.4%)、「変わらない」55.2% (54.8%)、「やや悪化」13.8% (12.9%)、「悪化」6.9% (9.7%) となり、DIは3.4 (0.0) と3.4ポイント改善した。

**《主な自由意見》**

○昨年同期の売上動向

好転要因では、受注の増加や製品の改良による顧客の増加、昨年は消費増税の影響で冷え込んでいたためなどの回答があった。

悪化要因では、商品値上げによる消費の低下などの回答があった。

○昨年同期の採算動向

好転要因では、受注の増加や出荷量の増加、販売単価の上昇などの回答があった。

悪化要因では、売上減少や販売単価の低下などの回答があった。

○経営上の問題

人材（中核人材）不足や原材料費の高騰、年間を通じて受注が不安定であることを問題視する声が寄せられた。

**(卸・小売業) 回答73社中40社、回答率54.8%**

○市内の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」7.7% (5.3%)、「普通」46.1% (39.5%)、「悪い」46.2% (52.6%)、「大変悪い」0% (2.6%) となり、D Iは▲38.5 (▲49.9) と11.4ポイント改善した。

○市内業界の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」7.5% (5.3%)、「普通」47.5% (36.8%)、「悪い」40.0% (55.3%)、「大変悪い」5.0% (2.6%) となり、D Iは▲37.5 (▲52.6) と15.1ポイント改善した。

○前年同期比の売上げは、「増加」0% (0%)、「やや増加」30.0% (7.9%)、「変わらない」37.5% (39.5%)、「やや減少」22.5% (34.2%)、「減少」10.0% (18.4%) となり、D Iは▲2.5 (▲44.7) と42.2ポイント改善した。

○前年同期比の採算動向は「好転」0% (0%)、「やや好転」12.5% (5.4%)、「変わらない」55.0% (48.7%)、「やや悪化」27.5% (37.8%)、「悪化」5.0% (8.1%) となり、D Iは▲20.0 (▲40.5) と20.5ポイント改善した。

**《主な自由意見》**

○昨年同期の売上

好転要因では、商品単価の増加や地域振興券の効果、昨年は消費増税の影響で大きく落ち込んだためなどの回答があった。

悪化要因では、商品単価の減少や得意先の減少、購買力の低迷などの回答があった。

○昨年同期の採算動向

好転要因では、仕入価格の低下による粗利益率の改善、商品単価の増加などの回答があった。

悪化要因では、売上減少や仕入価格の高騰などの回答があった。

○経営上の問題

消費増税以降の購買力の低迷や商品値上げによる売上減少、佐世保地区の公共工事の発注量などを問題視する声が寄せられた。

(サービス業) 回答65社中30社、回答率46.2%

○市内の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」10.0% (6.1%)、「普通」53.4% (63.6%)、「悪い」33.3% (30.3%)、「大変悪い」3.3% (0%) となり、DIは▲26.6 (▲24.2) と2.4ポイント悪化した。

○市内業界の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」16.7% (12.1%)、「普通」56.7% (57.6%)、「悪い」23.3% (30.3%)、「大変悪い」3.3% (0%) となり、DIは▲9.9 (▲18.2) と8.3ポイント改善した。

○前年同期比の売上げは、「増加」3.3% (3.0%)、「やや増加」23.3% (39.4%)、「変わらない」40.0% (42.4%)、「やや減少」16.7% (9.1%)、「減少」16.7% (6.1%) となり、DIは▲6.8 (27.2) と34.0ポイント悪化した。

○前年同期比の採算動向は「好転」0% (0%)、「やや好転」23.3% (36.4%)、「変わらない」36.7% (42.4%)、「やや悪化」30.0% (12.1%)、「悪化」10.0% (9.1%) となり、DIは▲16.7 (15.2) と31.9ポイント悪化した。

《主な自由意見》

○昨年同期の売上

好転要因では、新規顧客増加や入札による受注増加、宴会（婚礼）数の増加などの回答があった。  
悪化要因では、競争激化や荷動きの悪化、介護保険制度の改定の影響などの回答があった。

○昨年同期の採算動向

好転要因では、燃料費の低下や販路開拓による収入増加などの回答があった。  
悪化要因では、売上減少や競争による価格低下、介護保険制度の改定の影響などの回答があった。

○経営上の問題

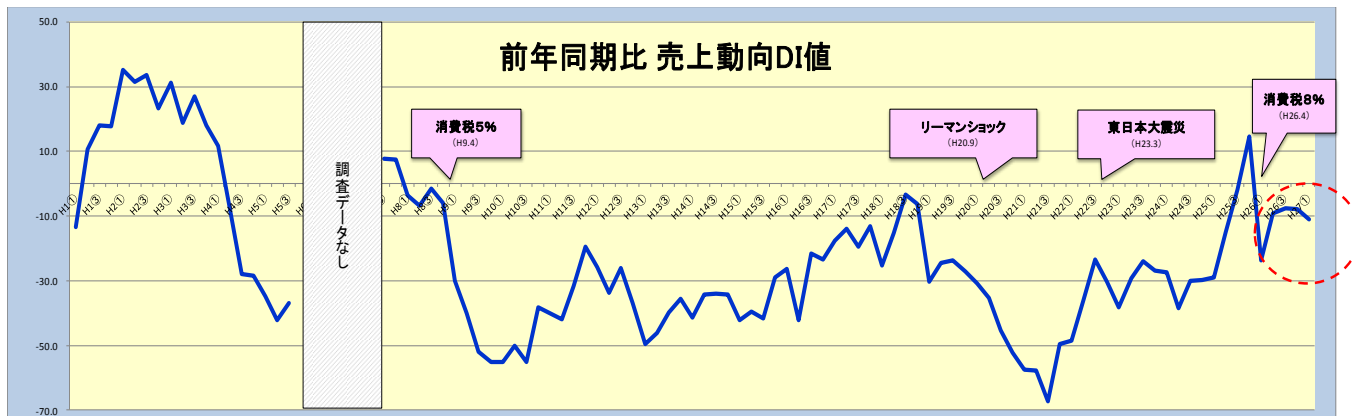
人手不足や人口（顧客）減少、水道光熱費・食材の高騰などを問題視する声が寄せられた。

以上



平成 27 年度第 1 四半期 経営動向調査表

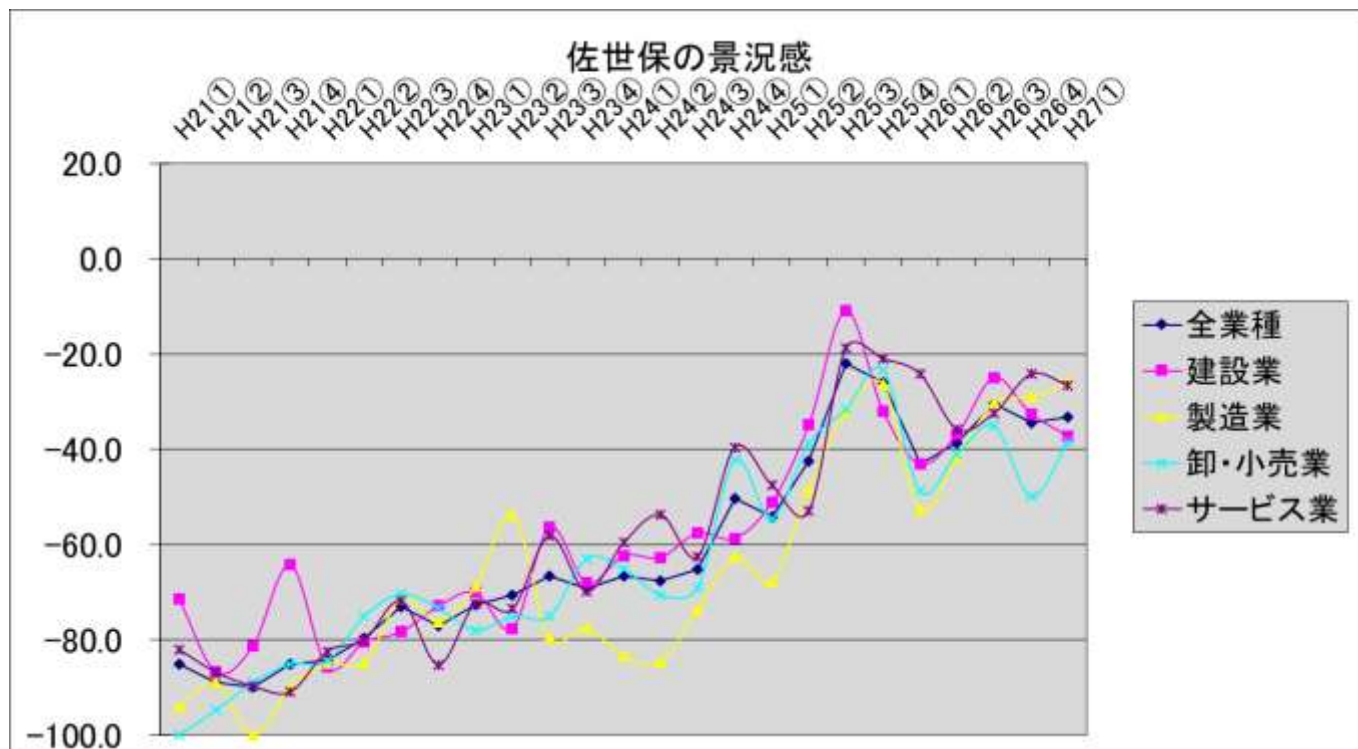
図表 1 - 1 【前年同期比売上動向D I 値の推移（平成元年～）】



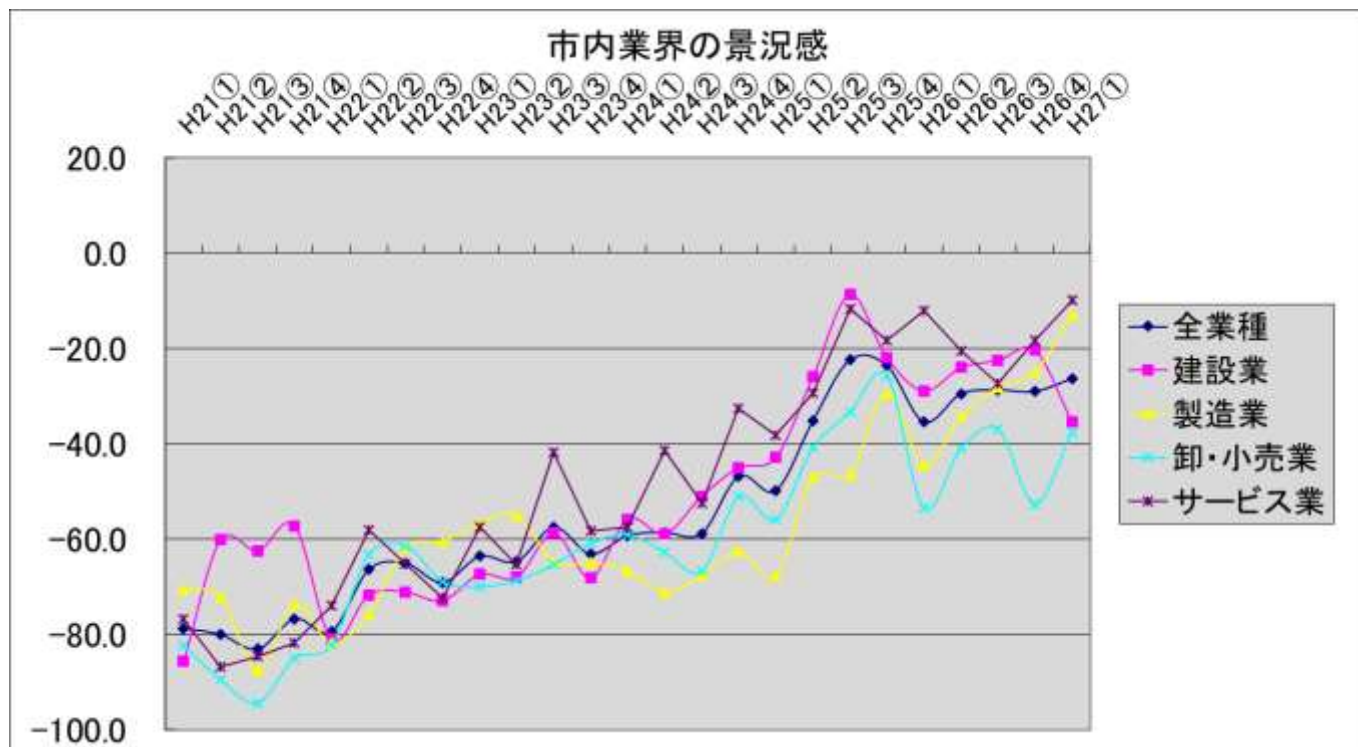
図表 1 - 2 【全業種D I 値の推移（平成 21 年～）】



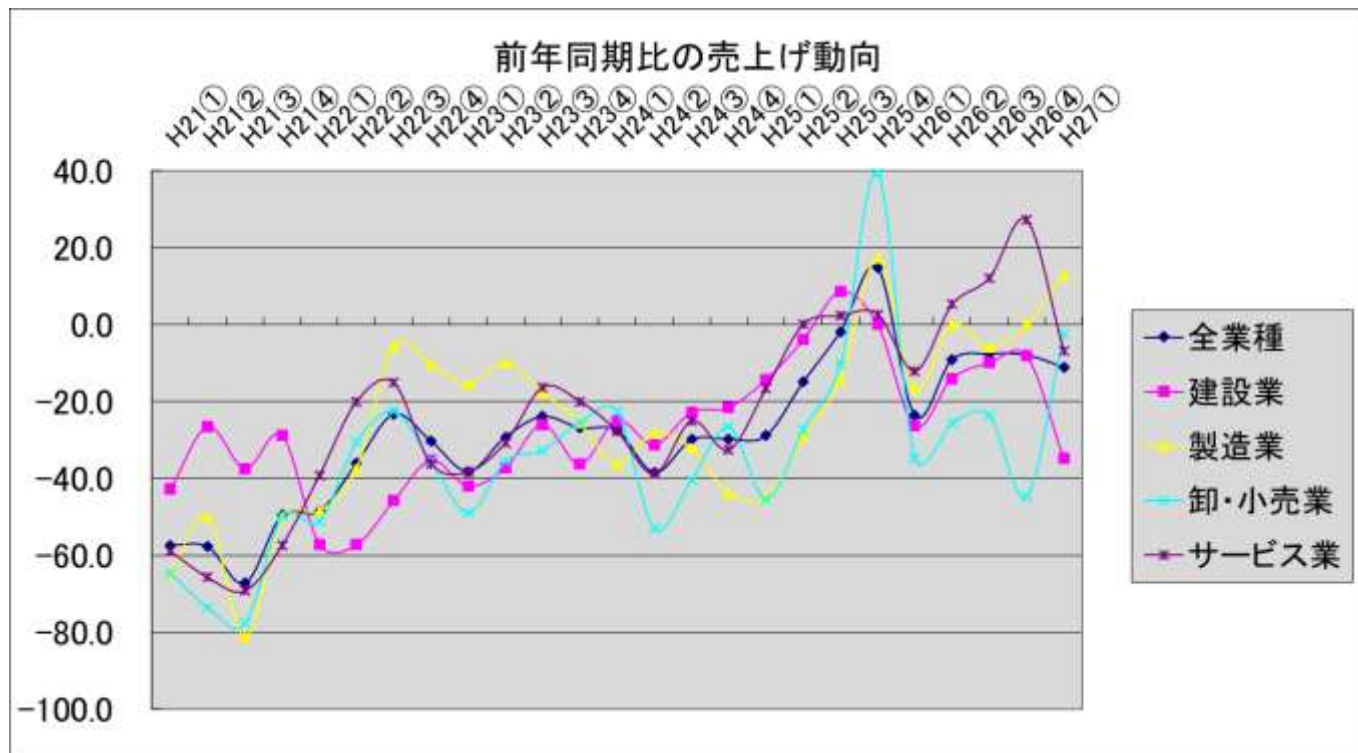
図表 1 - 3 【佐世保の景況感の推移（平成 21 年～）】



図表 1 - 4 【市内業界の景況感の推移（平成 21 年～）】



図表 1 - 5 【昨年同期比の売上動向の推移（平成 21 年～）】



図表 1 - 6 【昨年同期比の採算動向の推移（平成 21 年～）】

